

2010年(平成22年)4月28日



4月1日、TBS系テレビ「全国
の水道管が危ない」で筆者の
コメントが全国に流された「水道料
金を値上げしなければ、水道事業
体は生き残れない」と、しかも字
幕つきである。その前のシーンは、
日本一水道料金の高い北海道羅臼
町の老婦人が二人で肩を寄せ合っ
て年金で生活しているシーンで

「私たちはこれ以上、
公共料金が上がれば
生きていけない」で
ある。誰が見ても、
この不況時に公共料
金値上げを声高に叫
ぶ筆者は「庶民の敵
だ」テレビの怖さを

感じる。この収録時は、値上げは
最後の手段であり、その前にやる
ことは沢山ある。水道事業ガイド
ラインでの情報公開、官民連携や
PFI、PPP、DBOと30分以
上にわたり詳細に説明したが、こ
の部分はずべてカットされ「値上
げ」だけが使われた。

そういえば、在京の異なるテレ

ビ局の取材で「ダムは必要ですか」
と聞かれたので、「ダムは必要で
す、河川の治水ばかりではなく、
食糧自給率を10%上げるために
は、160億の水が必要で、こ
れを貯めなければなりませんから・
とりあえず黒四ダムを80個分」
と力説したが、夜のニュースを見
ると前原大臣だけが登場、筆者の
コメントがすべて抹殺された。要
するにダム反対のコメントだけが

欲しかったらしい。

昨年11月のBSフジテレビ「水
ビジネスへの挑戦」は生出演で2
時間、台本なしの言いたい放題。
経産省の松下副大臣、国際政治評
論家の浜田和幸氏、解説委員の安
部宏行氏、それにキャスター反町

理氏、八木亜希子さんと豪華メン
バーで、水問題を幅広く討論、こ
れは良かった。筆者は「水は国家

テレビの勝手

吉村 和就

のではないが、
ダムがなければ
これからの日本
は大変なこと
なる。

東京MXテレビでは、東京都副
知事、猪瀬直樹氏と二人で生対談
の1時間、さすが作家だけに事前
の調べは完ぺきで、よく勉強して
いた。水道事業の民営化に花が咲
いた。やはりテレビは生出演に限
る。

(グローバルウォータ・ジャパン
代表)